

富士中容量UPS

# UPS7100MX-T3シリーズ



# 高度情報社会の根幹を支え、 環境に配慮した富士UPS。

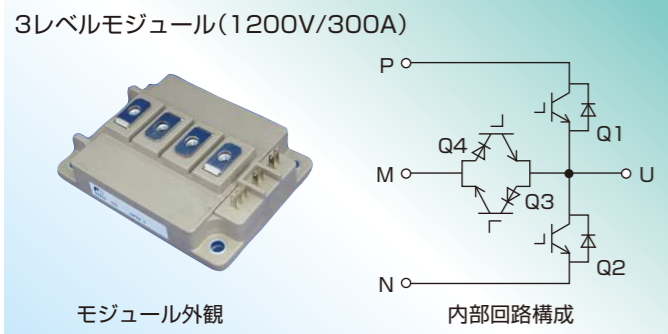
当社のテクノロジーの中核であるパワーエレクトロニクス技術とデバイス技術を融合し、最新の電力変換回路技術に富士電機独自の3レベルIGBTモジュールを適用し、装置効率を当社従来5%向上させた効率95%のUPS7100シリーズ(常時インバータ給電方式)を自信をもってお届けします。

## 特長

### ● デバイス技術を駆使し、装置の軽量化

RB-IGBT※1と従来のIGBTをワンパッケージ化した3レベルモジュールを適用することで、回路構成の簡易化を図り、さらにフィルタを小形化したことにより、装置質量を当社従来機より約40%削減しました。

※1：RB-IGBT；Reverse Blocking-Insulated Gate Bipolar Transistor(逆阻止IGBT)



### ● 高効率化

新電力変換技術(新3レベル変換回路)により、IGBT素子のスイッチング損失を低減し、さらにインバータが出力するPWM波形に含まれる高調波成分を従来品より半減させたことによりフィルタ損失が低減し、クラス最高レベルの装置効率95%※2を実現しました。

※2：装置最高効率を示しており、保証値ではありません。

### ● 簡単なマン・マシン・インタフェース

漢字表示の液晶タッチパネルを適用し、一目で装置運転状態が確認でき、「操作ガイダンス」「イベント履歴」「各種計測」の表示が可能です。

### ● 入出力電圧ワイドレンジ

定格入出力電圧を200~220Vの範囲で設定できる仕様になりました。従来の定格入出力電圧(200, 210V)に220Vを加えワイドレンジを実現しました。さらに入力電圧許容範囲を定格電圧の-30~+10%とし、電圧変動が大きい送電環境下でもバッテリー運転に移行せずに出力電圧を一定に保ちます(ただし負荷の条件によります)。

### ● ネットワークシステムの充実 (オプション)

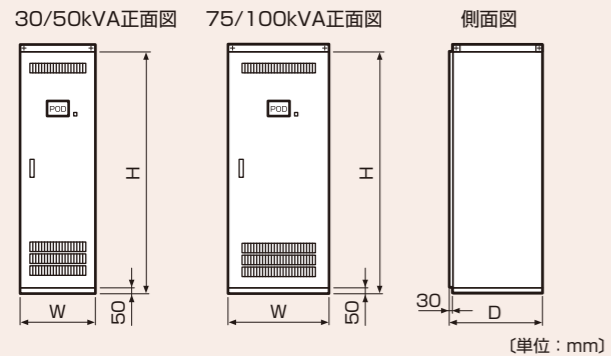
オプションのWeb / SNMPカードを搭載することにより、Webブラウザによる状態監視、Eメールによるイベント通知、リモートメンテナンス、マルチサーバシャットダウン、SNMPマネージャソフトによる状態監視(JEMA-MIB対応)を可能としました。

### ● 内蔵形保守バイパス回路 (オプション)

保守バイパス回路をオプションにてUPS装置に内蔵できる構造としました。UPS装置内部に保守バイパス回路を設けることにより、UPS装置のみで、より高いメンテナンス性を実現できます。

## 外形寸法・質量

### ■ UPS本体

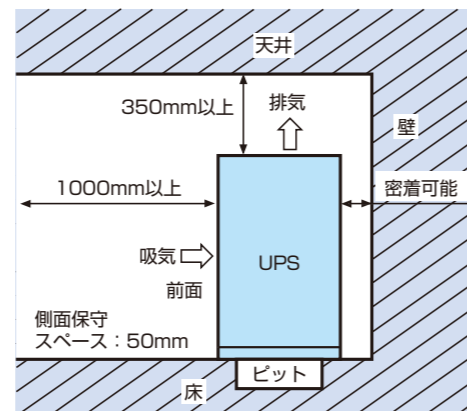


UPS容量 (kVA)	外形寸法(mm)			質量(mm)	
	(W)	(D)	(H) (本体+ベース)	内蔵保守用 バイパス回路なし	内蔵保守用 バイパス回路あり
30	600	750	1800+50	360	360
50	600	750	1800+50	360	360
75	800	750	1800+50	600	610
100	800	750	1800+50	600	610

注1：UPS装置の高さ寸法にはチャンネルベース高さ50mmを含んでいます。  
注2：内蔵形保守バイパス回路(オプション)付き仕様品も同一寸法です。

## 設置場所・保守スペース

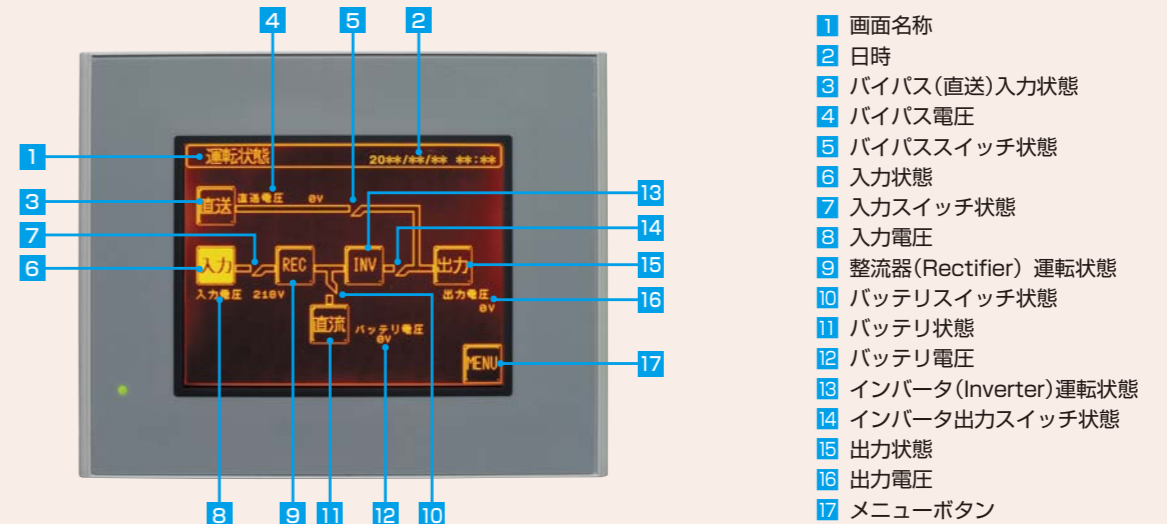
- 設置場所は屋内とし、不燃構造の部屋に設置してください。
- UPSは前面保守スペースが必要です。
- UPSはファンによる強制冷却をしており、じんあいを嫌います。設置場所の床は、Pタイルや防じん塗装をおすすめします。
- 塩害および腐食性ガス流入のない環境に設置願います。



## 仕様

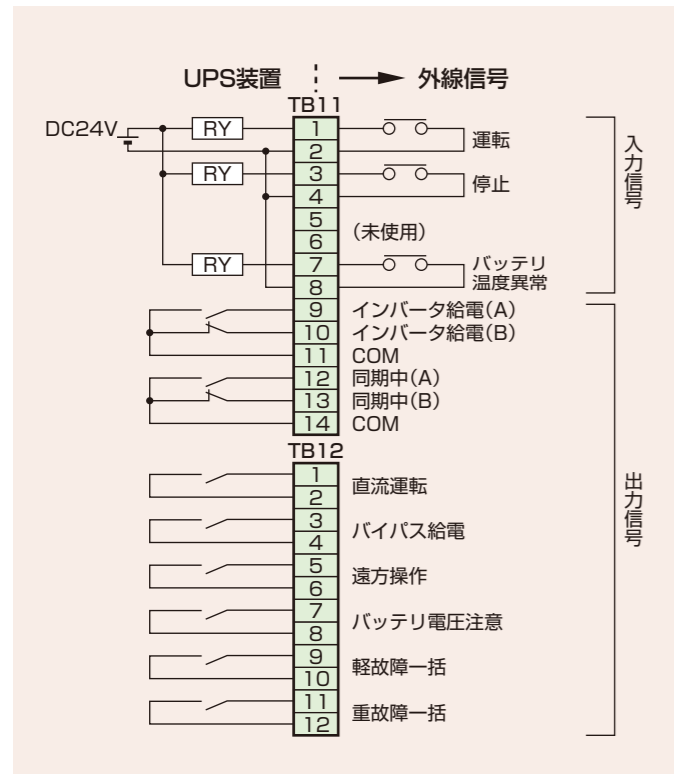
型式		7100MX			
モデル		T3/30	T3/50	T3/75	T3/100
給電方式		商用同期常時インバータ給電方式			
容量		30kVA	50kVA	75kVA	100kVA
交流入力	相数	三相3線			
	電圧	200/210V(220V対応可能)			
	電圧変動率	定格+10%、-30%(負荷低減あり)			
	定格周波数	50/60Hz			
	周波数変動率	±5%			
	力率	0.98以上			
	電流歪率(THD)(定格線形負荷時)	5%以下			
バイパス入力	相数	三相3線			
	定格電圧	200/210V(220V対応可能)			
	電圧範囲	180~220/189~231V			
直流入力	定格電圧/セル数	384V/192セル			
	電圧範囲	307.2~436.8V(標準バッテリーの場合)			
交流出力	相数	三相3線			
	定格電圧	200または210V(220V対応可能)			
	電圧精度	±1%以内			
	定格周波数	50/60Hz			
	周波数精度(内部発振時)	±0.01%			
	周波数直送同期範囲	±1%(±2, 3, 4, 5%の設定可能)			
	定格負荷力率	0.8(遅れ)または0.9(遅れ)			
	負荷力率変動範囲	0.7(遅れ)~1.0			
	電圧波形歪率	100%線形負荷	2%以下(100%線形負荷時)		
		100%整流負荷	5%以下(100%非線形負荷時)		
	過渡電圧変動	負荷急変0⇔100%	±3%以下		
		入力電圧急変	±2%以下		
		停電、復電	±2%以下		
		出力BYP→INV切替時	±5%以下		
過渡変動整定時間	50ms				
電圧不平衡比(100%不平衡負荷時)	±1.5%以下				
インバータ過負荷耐量	125%：10分間、150%：1分間				
発熱量		1.26kW	2.11kW	3.16kW	4.21kW
絶縁耐圧、抵抗		AC2000V 1分間/3MΩ以上			
騒音 ※通常はAレンジ、100%負荷時		65dB(A)以下		70dB(A)以下	
周囲温度		0~+40℃			
相対湿度		15~90%(結露なきこと)			
標高		1000m以下			
塗装色		5Y7/1 半つや			

## 運転表示パネル

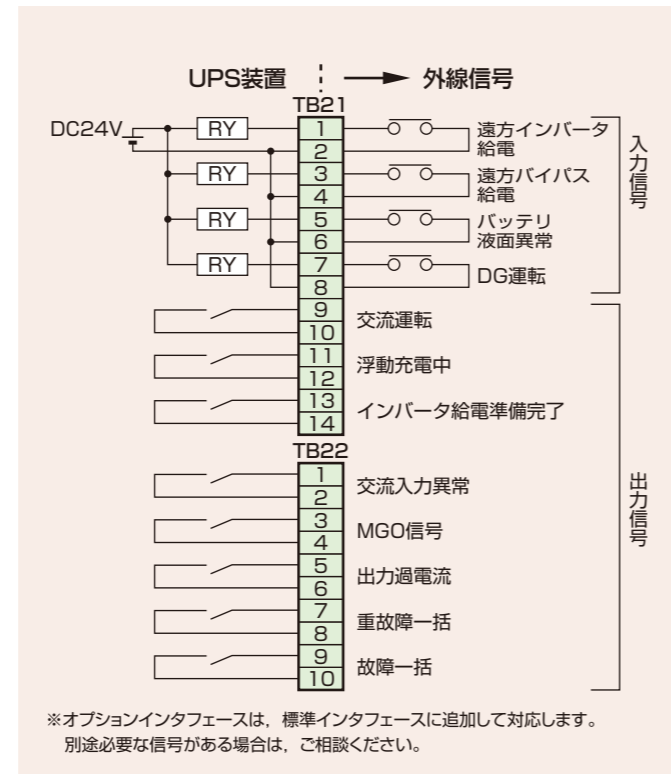


## 入出力インターフェース

### 標準インターフェース



### オプションインターフェース



**【接点仕様】**

(1)入力信号  
 定格電圧：DC30V / AC250V以下  
 定格電流：100mA以上  
 最小負荷電流：5mA

(2)出力信号  
 定格電圧：DC30V / AC250V以下  
 定格電流：3A以下  
 最小負荷電流：5mA

## 設備計画

### 配線

UPSの外線端子は、前面下部に設けてあります。

システム容量(kVA)	最大入力・出力接続電線(mm <sup>2</sup> )	最大入力・出力端子ねじ	接地端子	受電側MCCB
30	100	M10	M10	250AF/125AT
50	100	M10	M10	250AF/175AT
75	200	M12	M10	400AF/300AT
100	200	M12	M10	400AF/350AT

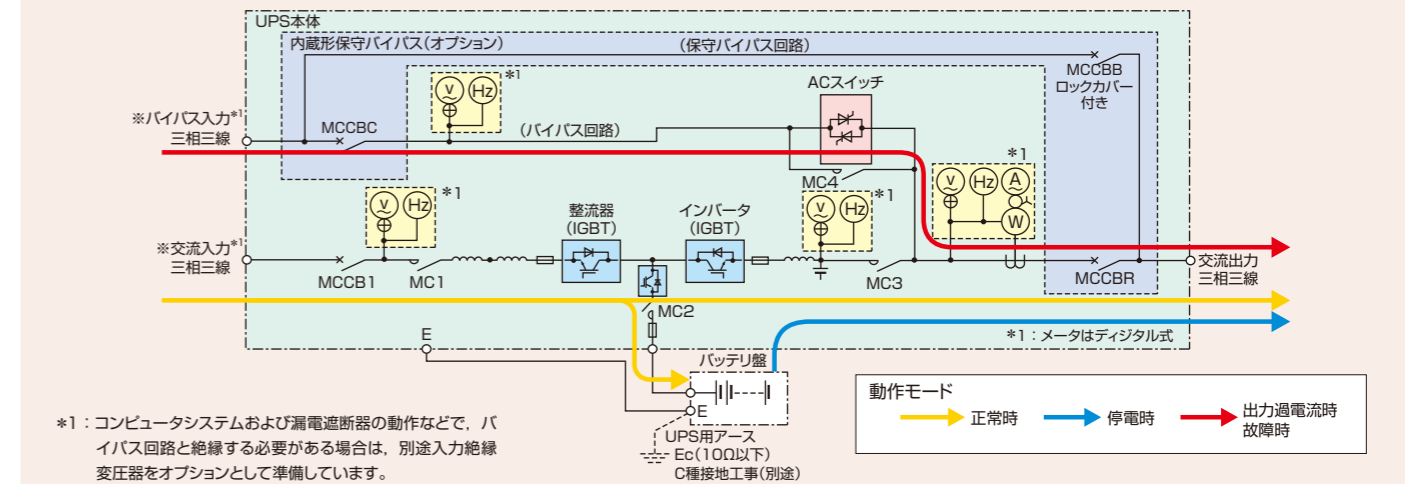
### 搬入・据付

- 横倒し搬入はしないでください。  
(必要な際は、別途ご相談ください。)
- 下記寸法以上の搬入ルートを確認してください。  
幅1,000mm×高2,100mm以上
- 設置場所の床荷重をご確認ください。

### 接地電流・接地

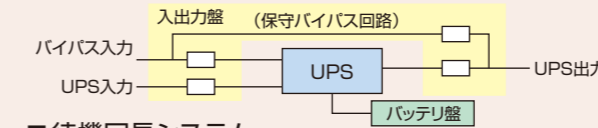
- UPSの接地はC種(10Ω以下)が必要ですのでご準備ください。
- 入力系統は、非接地またはS相接地のみに対応します。
- 内部ノイズフィルタの接地コンデンサの影響により接地電流が流れます。  
ELRなどを設置する場合、設定値は200mA以上、動作時間は0.3秒以上で選定願います。なお、UPS入力系統にはELB(漏電遮断器)は設けないでください。
- UPSの上位または下位で地絡検出する場合は、事前にご相談ください。

## UPS本体標準回路構成

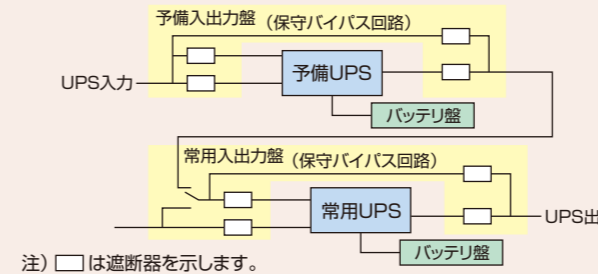


## UPSシステム構成

### 単機システム



### 待機冗長システム



- 保守点検および定期部品交換・故障時以外は安定した電源を供給することができます。
- 故障時でも、UPS内部バイパス回路に無瞬断で切り換え給電を継続します。
- 常用UPSのバイパス入力に予備UPSの出力(安定した電源)を接続することで、保守点検および定期部品交換・故障時に予備UPSの出力(安定した電源)で供給することができます。
- 拡張性・信頼性に優れたシステム構成です。

## 標準蓄電池の仕様

UPSは商用電源が停電すると、蓄電池電源を使用します。しかし、蓄電池で長時間の停電をカバーするのは経済的ではありません。通常は短時間をカバーする容量としており、30分を超える長時間の停電をカバーする場合は、非常用自家発電設備を設けた方が経済的です。標準蓄電池はUPS専用の小型制御弁式鉛蓄電池を使用しており、電圧確認の日常保守のみで約5年\*の期待寿命をもっています。また、MSEIに比べて省スペース化を実現しました。

\*1: 周囲温度25°C、放電回数は数回2.0C10A放電時の期待寿命です。(電池工業界 SBAG0304)。

### 蓄電池容量(標準値)一覧

蓄電池容量(負荷力率: 0.8) [蓄電池の保守率=0.95]

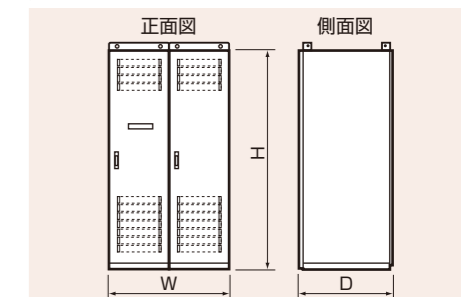
装置容量	停電補償時間[+25°C, 放電終止電圧=1.6V/cell]		
	5分	10分	15分
30kVA	24Ah	24Ah	38Ah
50kVA	38Ah	38Ah	76Ah(38Ah×2)
75kVA	38Ah	76Ah(38Ah×2)	76Ah(38Ah×2)
100kVA	76Ah(38Ah×2)	76Ah(38Ah×2)	114Ah(38Ah×3)

注: 蓄電池容量につきましては、御見積時に再度ご確認ください。

### 標準バッテリー盤寸法・質量(参考)(停電補償時間10分の場合)

装置容量	幅(W) (mm)	奥行(D) (mm)	高さ(H) (mm) (本体+ベース)	質量(kg)
30kVA	430	750	1800+50	550
50kVA	500	750	1800+50	760
75kVA	1000	750	1800+50	1520
100kVA	1000	750	1800+50	1520

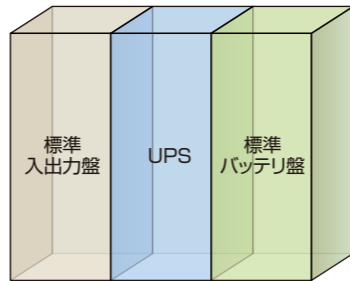
### 外形図





## 特長

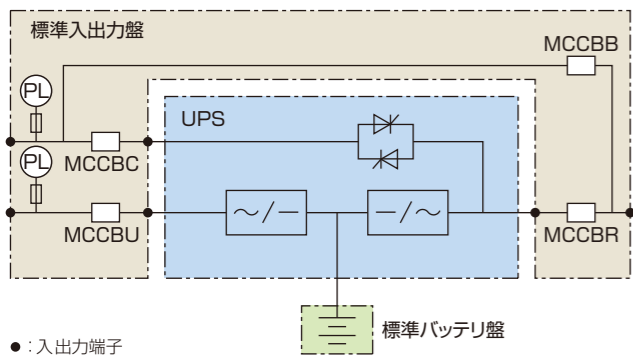
- 標準パッケージ化により、従来より大幅に納期を短縮。
- 列盤配置のため、トータル最適設計により、省スペース化を実現。
- 多彩なオプション選定で、お客様の要望にフレキシブルに対応。



パッケージ

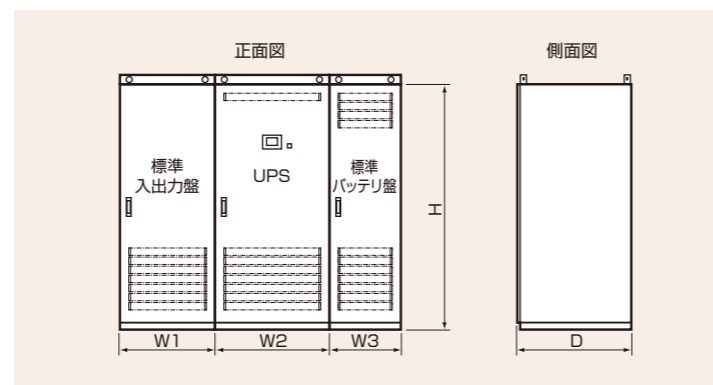
## 標準入出力盤(スコットトランスなし)

### ■システム構成



●：入出力端子

### ■外形図・寸法



注：寸法は下記寸法・質量表を参照ください。

### ■仕様

システム容量(kVA)	型式	装置容量	配線用遮断器容量			
			MCCBU	MCCBC	MCCBR	MCCBB
30	UPS7100MX-BCX030	30kVA	250AF/125AT	125AF/100AT	125AF/100AT	125AF/100AT
50	UPS7100MX-BCX050	50kVA	250AF/175AT	250AF/175AT	250AF/175AT	250AF/175AT
75	UPS7100MX-BCX075	75kVA	400AF/300AT	400AF/250AT	400AF/250AT	400AF/250AT
100	UPS7100MX-BCX100	100kVA	400AF/350AT	400AF/350AT	400AF/350AT	400AF/350AT

### ■寸法・質量

システム容量(kVA)	寸法(mm)					質量(ベース含む)(kg)		
	標準入出力盤幅(W1)	UPS幅(W2)	標準バッテリー盤幅(W3)	奥行(D)	高さ(H)(本体+ベース)	標準入出力盤	UPS	標準バッテリー盤
30	500	600	430	750	1800+50	180	380	550
50	800	800	500			190	760	
75			1000			290	610*	1520
100								

\*：内蔵保守用バイパス回路ありの場合は620kgです。

### ■入出力端子・推奨ケーブルサイズ

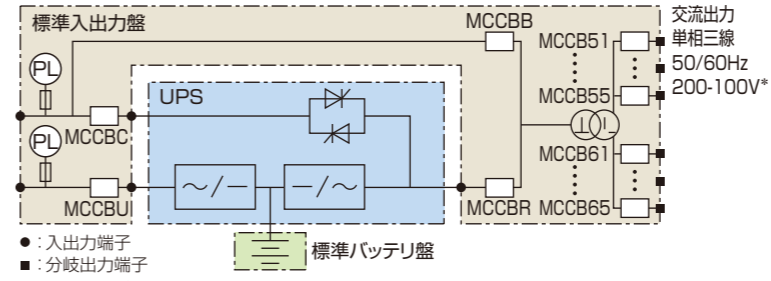
UPS容量(kVA)	入出力端子最大サイズ	最大ケーブル(mm <sup>2</sup> )
30	M10	100
50		100
75	M12	200
100		200

## UPS7100MX-BCX030

シリーズ名	装置容量(kVA)
BCX：トランスなし	030：30kVA
BCT：トランスあり	050：50kVA
	075：75kVA
	100：100kVA

## 標準入出力盤(スコットトランスあり)

### ■システム構成(スコットトランス付き)



●：入出力端子  
■：分岐出力端子

\*交流入力210Vの場合は、210-105V出力になります。

### ■仕様

システム容量(kVA)	型式	装置容量	配線用遮断器容量			
			MCCBU	MCCBC	MCCBR	MCCBB
30	UPS7100MX-BCT030	30kVA	250AF/125AT	125AF/100AT	125AF/100AT	125AF/100AT
50	UPS7100MX-BCT050	50kVA	250AF/175AT	250AF/175AT	250AF/175AT	250AF/175AT
75	UPS7100MX-BCT075	75kVA	400AF/300AT	400AF/250AT	400AF/250AT	400AF/250AT
100	UPS7100MX-BCT100	100kVA	400AF/350AT	400AF/350AT	400AF/350AT	400AF/350AT

### ■分岐配線用遮断器容量

UPS容量	出力数 <sup>*1</sup>	MCCB51, MCCB61		MCCB52, MCCB62		MCCB53, MCCB63		MCCB54, MCCB64		MCCB55, MCCB65	
		定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ	定格仕様	出力端子サイズ
30kVA	2	100AF/100AT	M8	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	100AF/100AT	M8	50AF/50AT	M6	—	—	—	—	—	—
	6	100AF/100AT	M8	50AF/50AT	M6	50AF/50AT	M6	—	—	—	—
50kVA	2	250AF/150AT	M10	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	250AF/150AT	M10	100AF/75AT	M8	—	—	—	—	—	—
	6	250AF/150AT	M10	100AF/75AT	M8	100AF/75AT	M8	—	—	—	—
75kVA	2	250AF/200AT	M10 <sup>*2</sup>	分岐オプションは必ず適用する前提。							
	4	250AF/200AT	M10 <sup>*2</sup>	125AF/125AT	M10	—	—	—	—	—	—
	6	250AF/200AT	M10 <sup>*2</sup>	125AF/125AT	M10	125AF/125AT	M10	—	—	—	—
	8	250AF/200AT	M10 <sup>*2</sup>	100AF/75AT	M8	100AF/75AT	M8	100AF/75AT	M8	—	—
	10	250AF/200AT	M10 <sup>*2</sup>	100AF/60AT	M8	100AF/60AT	M8	100AF/60AT	M8	100AF/60AT	M8
100kVA	2	250AF/250AT	M10 <sup>*3</sup>	分岐オプションは必ず適用する前提。							
	4	250AF/250AT	M10 <sup>*3</sup>	250AF/150AT	M10	—	—	—	—	—	—
	6	250AF/250AT	M10 <sup>*3</sup>	250AF/150AT	M10	250AF/150AT	M10	—	—	—	—
	8	250AF/250AT	M10 <sup>*3</sup>	100AF/100AT	M8	100AF/100AT	M8	100AF/100AT	M8	—	—
	10	250AF/250AT	M10 <sup>*3</sup>	100AF/75AT	M8	100AF/75AT	M8	100AF/75AT	M8	100AF/75AT	M8

\*1：出力数2以上はオプションになります。 \*2：端子幅29mm品 \*3：端子幅38mm品

### ■入出力端子・推奨ケーブルサイズ

UPS容量(kVA)	入力端子最大サイズ	最大ケーブル(mm <sup>2</sup> )
30	M10	100
50		100
75	M12	200
100		200

### ■分岐出力端子・推奨ケーブルサイズ

出力端子サイズ	最大ケーブル(mm <sup>2</sup> )
M6	22
M8	60
M10	100
M10 <sup>*1</sup>	100
M10 <sup>*2</sup>	150

### ■寸法・質量

システム容量(kVA)	寸法(mm)					質量(ベース含む)(kg)		
	標準入出力盤幅(W1)	UPS幅(W2)	標準バッテリー盤幅(W3)	奥行(D)	高さ(H)(本体+ベース)	標準入出力盤	UPS	標準バッテリー盤
30	800	600	430	750	1800+50	480	380	550
50						650	760	
75						870	610*	1520
100	1200	800	1000			1000		

\*：内蔵保守用バイパス回路ありの場合は620kgです。

## 標準入出力盤オプション仕様一覧

オプション項目	UPS7100MX			
	標準入出力盤(スコットトランスなし)		標準入出力盤(スコットトランスあり)	
	30, 50kVA	75, 100kVA	30, 50kVA	75, 100kVA
1 営繕対応*	○	○	○	○
2 分岐MCCB追加	×	×	○	○
3 上部入線	○	○	○	○
4 MCCB警報出力(a接点)	○	○	○	○
5 塗装指定	○	○	○	○
6 V/A/Hz/Wメータ付き	○	○	○	○
7 防滴構造(IP21)	○	○	○	○
8 ドアハンドル	○	○	○	○

注：○対応 ×対応不可 \*：国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」

## 保守契約について

安心してご使用頂くため、全国のサービスネットワークがお客様のUPSをバックアップします。

### ■ 保守契約内容パターン一覧表

お客様のUPSの保守計画や予算に応じた保守契約を選択してもらえよう、準備しました。

	24時間障害受付 技術者派遣	定期点検	定期交換部品 バッテリー、ファン	修理時の 使用部品
パターンA (フルメンテナンス)	○	○	○	○
パターンB (標準保守)	○	○	◇ 別途見積	○
パターンC	○	○	◇ 別途見積	◇ 実費精算
パターンD (スポット保守)	× 含まず	◇ 随時	× 含まず	× 含まず

注1: ○ 保守契約の範囲。

◇ 保守契約には含まれません。別途費用により承ります。

注2: 負荷機器が停止できない場合の部品交換作業には、保守バイパスユニットの設置が別途必要です。

注3: 待機冗長システムのUPS点検は、1台ずつ解列にて点検作業を実施致します。

注4: 待機冗長システムの共通部点検は、保守バイパスへの切換、または停電が必要です。

注5: 定期点検の回数・方法は、お打合せによります。

注6: 保守パターンについては、お打合せによります。

### ■ 24時間障害受付

万が一のトラブルに対し休日・夜間を問わず24時間365日「富士電機コールセンター」にて障害受付を行います。障害内容の確認から、サービス員の派遣まで迅速に対応します。(コールはUPSをご購入頂いたお客様からのみとさせていただきます)



### ■ 突発故障時の故障診断・修理

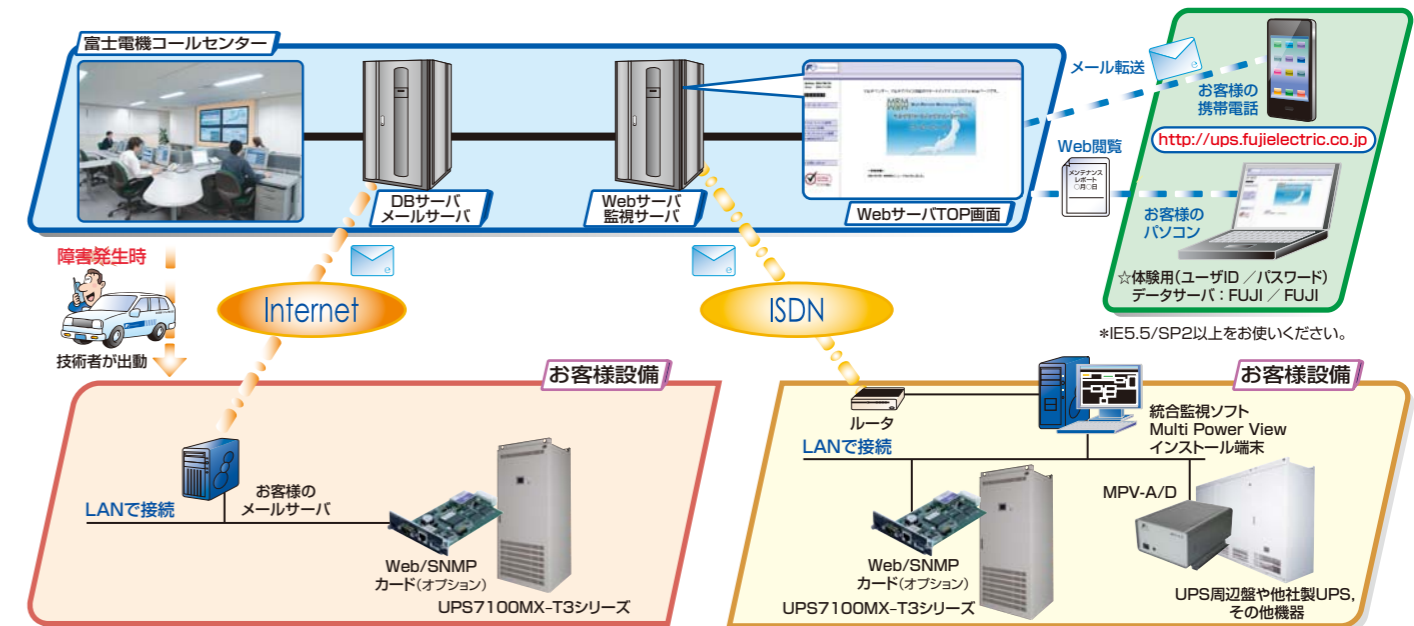
北海道から九州・沖縄まで全国20箇所以上のサービス拠点にてお客様のUPSをサポートします。トラブル発生時、最寄の拠点よりサービス員を派遣します。



## ネットワーク対応リモートメンテナンス

### マルチリモートメンテナンスサービス(MRM※)

リモートメンテナンスシステムは、お客様に代わって、大切な設備を監視・メンテナンスいたします。



※MRM: Multi Remote Maintenance Serviceは当社の登録商標です。

インターネットに接続できる環境があれば、インターネットエクスプローラなどのブラウザソフトにてどこからでもUPSの情報が見れます。

#### 低コスト

●お客様使用のEメール機能の活用により、通信費用が発生しません。

#### 監視機能強化

●万一の障害発生時には、自動的に富士電機コールセンターへデータを送信することで、24H・365日監視し、専門の技術員が対応します。

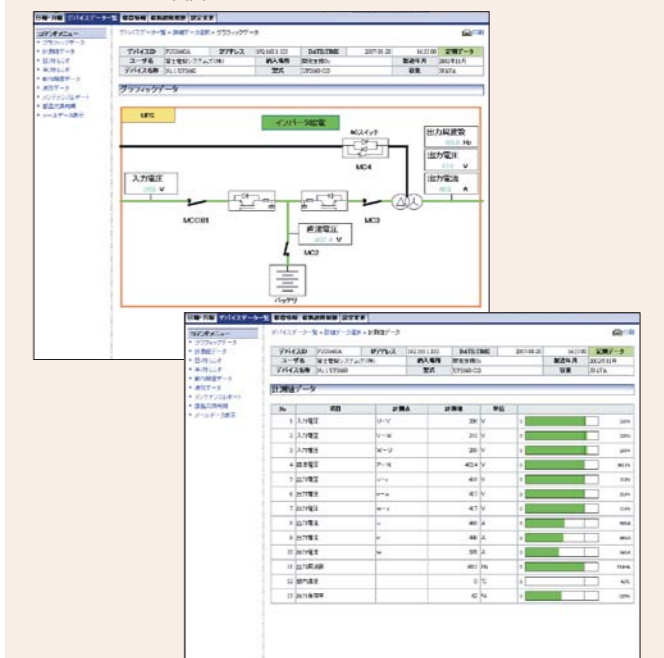
#### 高度なセキュリティ

●ユーザーIDとパスワードでユーザー認証(日本ペリサインSSL認証にてセキュリティ強化)。  
●専用の回線(INS64など)での対応が可能となり、より安全性を高めることができます。

#### 便利な機能

●万一の障害発生時に富士電機コールセンターからの連絡先をユーザーが任意に設定・変更が可能です。

グラフィックデータ画面



計測値データ画面

注)MRMサービス利用時は、別途リモートメンテナンス契約が必要となります。

## 無停電電源装置(UPS)をお使いになるお客様へ

無停電電源装置をご使用の前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

### ■安全上の注意事項

#### 1. 設置場所について

本装置の電源工事は電気の専門業者が行ってください。屋内設置を前提としており、下記の項目に注意してUPSを設置し、使用してください。

- ・ ちりやほこりの多い場所
  - ・ 高温高湿の場所
  - ・ 風通しの悪い場所
  - ・ 傾斜や振動する場所
  - ・ 腐食性ガスを含む場所や海岸近辺など塩分を多く含む場所またはこれらに相当する環境の悪い場所
- このような場所での使用はUPS内部の部品腐食の原因となり装置の寿命低下および信頼性低下の要因となります。

設置場所の温度条件は0～+40℃で設計されていますが、UPSの安定稼働やバッテリーの寿命などの点から、25℃以下での運転を推奨します(発熱量は定格仕様を参照ください)。

次のような用途に使用する場合は、システムの多重化、非常用発電設備の設置や運用・維持・管理などについて特別な配慮が必要となりますので、事前に当社へ相談ください。

- ・ 人命に直接かかわる医療機器
- ・ 人身の損傷に至る可能性のある機器
- ・ 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムや設備

日本国外での使用については別途お問合せください。本資料に掲載のUPSは日本国内向けの仕様で製作されています。

#### 2. 定期保守について

UPSの設計上の標準使用期間は15年です(周囲温度は25℃)。品質維持のため、当社UPS専門員による定期保守を推奨します。

#### 3. 分解/改造の禁止について

感電の恐れがあるため、カバーを開けたり、改造することを禁止します。UPSの内部には、100Vを超える電気回路があります。また、内蔵蓄電池により、UPSが停止中であっても直流回路に電圧がかかっています。

#### 4. 絶縁耐圧試験や絶縁抵抗試験の禁止について

絶縁耐圧試験や絶縁抵抗試験を禁止します。UPSは、半導体などを使用した電子機器ですので、絶縁耐圧試験や絶縁抵抗試験は実施しないでください。故障の原因となり、発煙・発火に至る可能性があります。

### ■システム構築上の注意事項について

#### 1. 電源電圧の確保について

頻繁に停電や電圧低下があると、十分な充電ができず、停電の際にバックアップ時間が短くなったり、蓄電池故障となる恐れがあります。UPSの入力電源仕様にあった電源を確保願います。UPSはバックアップ可能時間と比べて充電時間が1昼夜と長くなります。

#### 2. 保守バイパスについて

UPSをご使用になる際には、点検や修理、バッテリー交換を行うために、UPSを完全に切り離すことができる保守バイパス回路を設けていただくことをお願いいたします(詳細はP4のUPSシステム構成を参照ください)。

#### 3. 特定負荷との組合せについて

励磁突入電流がある変圧器、起動電流を発生する電動機などの負荷に給電する場合、UPS容量選定に当たっては、特別な配慮が必要となりますので、事前に当社へご相談ください。

#### 4. 半波整流負荷および進み力率負荷の接続禁止について

半波整流負荷や進み力率負荷を接続すると、UPSの不安定動作によって故障となる可能性があります。

#### 5. 非常用発電機との組み合わせについて

UPSは発電機から見た場合、アクティブな整流器負荷ですので、組み合わせたケースにより、発電機端子電圧に異常電圧が発生する恐れがあります。発電機の容量選定は発電機メーカーにご相談ください。

#### 6. 火災予防条令について

火災予防条令では同一防火区画に設置できるバッテリーの総量を規定しています。UPSはバッテリーを使用していますので、同一防火区画のバッテリーの総量が4,800Ah・セル以上の場合、所轄の消防署へ届出をお願いします。

#### 7. 電波障害について

住宅地域で使用した場合、ラジオ・テレビなどに電波障害を与える可能性があります。

#### 8. 回生負荷について

UPSは回生電力のある負荷には使用できません。装置故障の原因となります。

#### 9. 騒音について

カタログ記載の騒音はUPS装置から1m離れた位置で測定した値です。設置場所の環境(反射音などの影響)により、騒音値が仕様値を超過する場合があります。

#### 10. 保守スペースおよび換気スペースについて

カタログ記載のスペースは空調と強制換気がなされた良好な環境に設置された場合の最小スペースを示しています。詳細については据付要領書を参照願います。

### ■その他

#### 1. 保証について

ご検取一年以内に、通常の使用条件で、設計または材料の瑕疵もしくは工作上の原因により、当社が納入した機器に、破損または運転上の不適合が生じた場合には、無償にて修理いたします。この場合、当社の保証に関する義務は、不適合機器の修理費用、ないしは無欠陥品との交換費用を超えるものではないものとします。また、間接的損害、二次的損害に関しては、その責を免ぜられるものとします。なお、本製品に使用による事故が発生しても、それに起因する損害および二次的な波及損害のすべての補償には応じかねます。

#### 2. 搬入について

搬入の際、特に指定がない場合には車上渡しとなります。実際の搬入および設置については、当社へ相談ください。

#### 3. 耐震について

設置現場で十分な耐震性能を確保するために、アンカーボルト等の位置・個数について検討が必要となりますので、弊社までご相談ください。

#### 4. 本体の廃棄について

廃棄する場合、所管法令に従い廃棄してください。

#### 5. 蓄電池の再資源化(リサイクル)について

バッテリーは主に鉛蓄電池を使用しています。鉛蓄電池は再資源化可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーの廃棄や交換に関しては、当社の営業または保守契約サービス会社まで相談ください。

#### 6. 蓄電池の寿命期について

バッテリーには寿命があります。ご使用中のバッテリーが更新期限に近づくか、バッテリー寿命警告の警報メッセージが表示されたら、速やかにバッテリーを交換してください。そのまま使用しますと、停電バックアップされず、負荷機器が停止する可能性があります。バッテリーの更新期限や詳細については、バッテリーの仕様書や取扱説明書を参照ください。



北海道	北海道支社	〒060-0031 札幌市中央区北1条東2-5-2(札幌泉第一ビル) ☎(011)221-5487
	☆苫小牧SC	〒053-0052 苫小牧市新開町3-17-4 ☎(0144)57-3330
	☆帯広SC	〒080-0804 帯広市西5条南9-2-15(タチノセンタービル) ☎(0155)27-1621
	☆釧路SC	〒085-0014 釧路市末広町13-1-4(釧路サウスビル) ☎(0154)32-4888
東北	東北支社	〒980-0012 仙台市青葉区錦町1-10-11(新平和ビル) ☎(022)223-4460
	☆青森SC	〒030-0861 青森市長島2-25-3(ニッセイ青森センタービル) ☎(017)777-7802
	☆秋田SC	〒010-0922 秋田市旭北栄町1-46-3 ☎(018)824-3401
	郡山SC	〒963-8033 郡山市亀田1-2-5 ☎(024)939-2913
関東	神田サービス統括部	〒101-0021 東京都千代田区外神田6-15-12 ☎(03)5816-7907
	新横浜SC	〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-7-17(KAKiYAビル) ☎(045)476-7841
	☆東関東支店	〒260-0843 千葉市中央区末広4-20-1 ☎(043)266-7622
	☆鹿島SC	〒314-0127 神栖市木崎2406-186(コーポラス幸武106-1-1) ☎(0299)91-0335
	☆ひたちなかSC	〒312-0053 ひたちなか市外野2-32-6 ☎(029)275-2951
	☆北関東支店	〒330-0071 さいたま市浦和区上木崎2-11-21 ☎(048)834-3111
	群馬営業所	〒371-0855 群馬県高崎市栄町4番11号(原地所第2ビル) ☎(027)367-1370
	松本営業所	〒390-0852 松本市島立943(ハーモネートビル) ☎(0263)48-3586

北陸	北陸支社	〒930-0004 富山市桜橋通り3-1(富山電気ビル) ☎(076)441-1238
	新潟営業所	〒950-0965 新潟市中央区新光町16-4(荏原新潟ビル) ☎(025)284-5325
中部	福井SC	〒918-8237 福井市和田東2-813 ☎(0776)21-7170
	中部支社	〒460-0007 名古屋市中区新栄1-5-8(広小路アクアプレイス) ☎(052)231-8546
関西	関西支社	〒553-0002 大阪府大阪市北区大深町3番1号(グランフロント大阪タワーB) ☎(06)7166-7324
	神戸SC	〒651-2271 神戸市西区高塚台4-1-1 ☎(078)991-2151
中国	泉州SC	〒598-0047 泉佐野市りんくう往来南2-2(りんくうエルガビル) ☎(072)458-9601
	☆敦賀SC	〒914-0811 敦賀市呉竹町2-3-30 ☎(0770)22-0262
四国	中国支社	〒730-0022 広島市中区銀山町14-18 ☎(082)247-4262
	東中国営業所	〒710-0842 倉敷市吉岡572-11 ☎(086)422-0922
九州	☆山口営業所	〒755-8577 宇部市相生町8-1(宇部興産ビル) ☎(0836)21-3177
	四国支社	〒760-0017 高松市番町1-6-8(高松興銀ビル) ☎(087)851-0085
沖縄	九州支社	〒812-0025 福岡市博多区店屋町5-18(博多NSビル) ☎(092)262-7855
	鹿児島営業所	〒890-0053 鹿児島市中央町9-1(鹿児島中央第一生命ビル) ☎(099)286-1234
	沖縄支社	〒900-0004 那覇市銘苅2-4-51(ジェイツービル) ☎(098)866-0341

☆:小容量UPS(10kVA以下)および富士インテリジェントUPS(RXシリーズ)のみ対応。

## 設置条件

- 本装置は屋内用です。  
据付けにあたっては、直射日光の当る場所や風雨にさらされる場所は避けてください。
- ちりやほこりの多い場所、高温多湿の場所は避けてください。
- 設置場所の温度条件は0~+40℃で設計されていますが、UPSの安定稼働や蓄電池の寿命などの点から、25℃以下での運転を推奨します。(発熱量は定格仕様をご参照ください)
- 次のような用途に使用する場合は、システムの多重化、非常用発電設備の設置や、運用、維持、管理などについて特別な配慮が必要となりますので、事前に当社へご相談ください。
  - 人命に直接かかわる医療機器
  - 人身の損傷に至る可能性のある機器
  - 社会的、公共的に重要なコンピュータシステム
- 詳細は各シリーズの取扱説明書や仕様書をご確認ください。

◎本品の使用(ハードウェア・ソフトウェア)に起因する事故が発生しても、接続機器・ソフトウェアの異常・故障に対する損害・その他二次的な波及損害を含むすべての損害の補償には応じかねます。

※本カタログに記載されている商品名、会社名は、各社の商標または登録商標です。

## 安全に関するご注意

\*ご使用前に、「取扱説明書」や「仕様書」などをよくお読みいただくか、当社またはお買上の販売店にご相談のうえ、正しくご使用ください。  
\*取扱いは当該分野の専門の技術者を有する人が行ってください。

このカタログは再生紙を使用しています。

## 富士電機株式会社

☎(03)5435-7111  
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2  
(ゲートシティ大崎イーストタワー)

### ●支社・支店・営業所

北海道 (011)261-7231	新潟 (025)284-5325	中国 (082)247-4231	長崎 (095)822-6165
道南 (0143)44-6800	中部 (052)746-1000	山口 (0836)21-3177	熊本 (096)334-7781
東北 (022)225-5351	豊田 (0566)83-9915	東中国 (086)422-0922	宮崎 (0985)24-7281
岩手 (0198)26-5161	静岡 (054)255-7623	四国 (087)851-9101	鹿児島 (099)286-1234
東関東 (043)266-7622	三島 (055)976-3331	松山 (089)933-9100	沖縄 (098)862-8625
北関東 (048)834-3121	浜松 (053)413-6161	高知 (088)824-8122	
群馬 (027)367-1370	三重 (059)353-3471	徳島 (088)657-4110	
松本 (0263)48-2763	関西 (06)7166-7300	九州 (092)262-7800	
北陸 (076)441-1231	神戸 (078)371-3288	小倉 (093)562-2323	
金沢 (076)291-8830	滋賀 (0748)31-1360	大分 (097)532-9161	

ホームページURL <http://www.fujielectric.co.jp>

本資料の内容は製品改良などのために変更することがありますのでご了承ください。

2015-9(12015/12015)CTP10EP Printed in Japan